



## 空間コメント

外観は版築のダイナミックな土の層で仕上げられ、内部は土の壁「常滑大壁」が美しい曲線を描きながら広がります。弧（こ）と弧の間の棒は、フランク・ロイド・ライトが旧帝国ホテルのスクラッチタイルに採用したものと同じ知多半島内海の土を使っています。階段周りの「日干しレンガ」はワークショップにより、生活者のみなさんとともに作成したものです。入り口は常滑の風景をイメージし、鑄鉄の格子に色ガラスがはめ込まれ、トイレでは壁や洗面一面に色とりどりのモザイクタイルが張りめぐらされています。企画展示室奥の壁も見どころの一つ。型枠に入れた土を15cm幅ごとに棒でたたいて押し固め、積み上げる「版築（ハンチク）工法」で造られた土壁です。そのほかにも洋鍛冶屋、木工作家が製作した手作り家具などが随所に使われ、土の空間を一層魅力的に引き立てています。

## DATA

設計：南の島工房一級建築士事務所  
 施工：株式会社東海コン  
 クレイワークス：久住有生  
 所在地：愛知県常滑市奥栄町1-130  
 竣工：2006年9月

## 外観ディテールアップ



「版築工法」のディテールアップ

## 外観



東側全景



建物の版築壁コーナー部



西側の版築壁



夜景全景



テラコッタルーバーを使用した屋外照明

## 内観ディテールアップ



日干しレンガ面状



「常滑大壁」左官仕上げ

## 内観



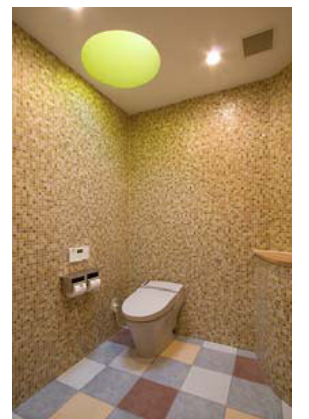
日干しレンガを積み上げた階段部分



「常滑大壁」と常滑の風景をイメージした入口ステンドグラス



男子トイレ



男子トイレ



「版築工法」のできた企画展示室の土壁



女子トイレ



女子トイレ手洗い